



茶の香だより

第9号

平成28年4月7日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

学校運営協議会

編集：学習部



コミュニティ・スクール2年目を終えて

武蔵村山市立第五中学校

校長 井口 寛隆

満開の桜に囲まれる中、新たに260名の新入生を迎え、平成28年度がスタートしました。それぞれ進級した新2、3年生も1年生の良き手本として、「生徒の手で行事を創り上げる学校」の伝統を引き継いでいってくれると信じています。

学校全体としては、「学び合い学習」を取り入れた生徒の主体的な授業の展開、「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の推進を柱に、学力の向上をめざして参ります。

さて、一昨年度からスタートしたコミュニティ・スクールも2年が終了し、学習部、生活部、地域連携部の3つの部による活動も充実してきました。平成28年度はコミュニティ・スクール3年目となり、第五中学校の生徒のために、学校の教職員、保護者、地域の皆様がより一層連携していきたいと思えます。

なお、各部の活動につきましては、コミュニティ・スクール便りと学校のホームページによりお知らせしていきますので、保護者、地域の皆様の御理解、御協力いただき、多数の皆様の御参加をお願い申し上げます。

地域連携部

【地域連携行事・ボランティア活動】



(五中フェスティバル)

毎年7月に実施される五中フェスティバルに地域連携部としてかわり2年目を迎えました。1年目講座の新規開拓を行いました。昨年度も引き続き講師の方に受けていただき地域とのつながりがより広がったように感じられます。五中フェスティバルは、地域の方々と学校並びに五中PTAの皆様の協力によって実施できるものです。昨年度は、地域連携部としてPTAの役割の一部として講師事前説明会受付・並びに講座事前準備への協力及び当日の講師受付などへも協力させていただきました。今年度も地域連携部としてかわられることに協力していきたいと思えます。

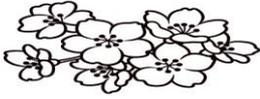
(職場体験)

今まで多くの企業・事業所の方々に受け入れていただき感謝いたします。体験場所も毎年状況が変わってくることもあり、実施するにあたってはさらに多くの体験場所の情報が必要となります。昨年度末におやじの会の方から情報をいただき市内の体験場所を紹介していただきました。職場体験は、毎年9月後半に実施しておりますが、より多くの情報を今年度も集めていきたいと思えます。

(ボランティア活動)

地域の各団体の方から今年度も生徒にボランティアの依頼をいただき参加させていただきました。より多くの子供たちがボランティアへ参加できる機会をもてるよう情報提供を続けていきたいと思えます。

地域連携部 齋藤 早苗



生活部

【生活・健康安全・学習環境・環境整備】

早いもので平成27年度の五中コミュニティ・スクールがスタートして一年が経ちました。生活部としては、主に「第五中学校校庭 芝生の管理」、「第五中学校区の防犯パトロール」を行ってまいりました。「校庭芝生の管理」は第五中学校のPTA役員さんと学校先生方、そして生活部委員で協力し合い、5月～10月末まで毎週1回芝刈り等、管理運営を行ってまいりました。「防犯パトロール」におきましては、五中校区の学校先生方・二小・八小・十小PTA、青少対・おやじの会のご協力をいただき、五中校区の通学エリア、特に公園や不審者情報のあった場所等を重点的に、毎月1回約1時間防犯パトロールを行ってまいりました。多くの皆様に御協力いただき感謝しております。3月26日には、学校運営協議会委員と先生方、PTA有志で、3階の廊下壁と扉のペンキ塗りをしました。新年度、生徒たちには綺麗になった校舎で気持ち良く中学生活を送っていただきたいものです。

平成28年度も生活部、力を合わせて楽しみながら活動出来たらと思います。

生活部 加園 一茂



学習部

【学習・学力向上・学校理解】

今年度、始動して2年目の学習部の活動は、夏休みの学習ボランティアや3年生の面接練習の面接官など、多くの場面でより充実したものとなりました。

夏休みの学習ボランティアでは武蔵村山高校の生徒が意欲的に中学生に接し、中学生も近い年代の高校生に勉強を教えてもらえることを新鮮に感じながら取り組んでいました。中高連携も非常に良い機会となり、感謝をしています。

面接練習では、今年度も多くの地域の方に面接官をしていただきました。生徒は緊張しながらも、いろいろな方と面接をしていくことで、面接への自信をもって受験に臨むことができたと思います。

また、新たな試みとして漢字検定試験の監督者のサポートも行い、さらに幅の広がった活動ができました。まさにコミュニティ・スクールが目指す「地域の風が行き交う学校」を体現できた1年でした。これらの活動は地域の協力があってこそです。今後も学校として地域と協力しながら可能性を探っていきたいと思っています。

学習部 近江 大輔

「夏季補習教室 学習サポーターに参加して」

今年度も五中の夏季補習教室に学習サポーターとして、村高の生徒や若手教員が6日間にわたり参加させていただきました。参加した生徒11名の多くは五中卒業生で、なかには久々にお会いした先生方に照れた様子で近況を報告する場面もありました。

日ごろ楽しそうに通学する五中生の勉強ぶりは！村高生はきちんとサポートできるのか？初めは遠巻きにしていた村高生も、苦戦中の五中生と一緒に課題に取り組む様子が見られるようになり、ホッと安心したものでした。

村高生からは、弟や妹のような親近感や人の役に立つ喜びなどを感じられたとの声も聞かれ、両校の繋がりを深める良い機会となったことに改めて感謝申し上げます。

東京都立武蔵村山高等学校 主任教諭 菅 愛彦